

2019年度東京YMCA社会体育・保育専門学校 第2回学校関係者評価委員会議事録

日時：2019年11月16日(土) 18時00分～19時30分

場所：東京YMCA社会体育・保育専門学校1階会議室

出席者：伊藤郁夫、星住秀一、松本竹弘、阿部亮

欠席者：渡部健人

列席者：堀雄二、佐治克彦

I. 校長挨拶

本委員会の進め方について、第一回の委員会で頂いたご意見に学校のからの対応案が示されるので、本日はより多くの率直なご意見を頂きたい。それを現場改善に結びつける旨の挨拶があった。(堀校長)

II. 前回記録の確認

前回の記録の確認と、まとめがなされた。(佐治副校長)

III. 今後の対応および意見

- ・「現場主義」充実のための施策として、学生個人からの振り返りは項目を指定して回答できるようにし、実習・体験先の担当者との会議にて今後の改善点を明確にするなど、学生の声や感じ方により対応することが必要ではないか。(松本委員)
- ・近隣のYMCAとの連携は、スタッフの行き来を増やして意思疎通を高めながら、学生の異学年間の交流を増やすなどして、プログラムの連続性を高める。学生は、ボランティアの機会をいくつかのジャンルから選択するシステムにして、幅の広い学びができるようにする。学生のより細かい紹介ができる機会を設けることが望まれる。(星住委員)
- ・資格取得については、自主グループ学習で、同じ志をもつ学生同士で学びを深める雰囲気を作り出す。先輩と後輩の異学年でのアドバイスもできるようにするとよい。(伊藤委員)
- ・保育科の特徴ある授業、大切にしている人間形成観を外部の人々が分かるように情報発信する。そのための写真や学生の感想など視覚的にアピールするとよい。(阿部委員)
- ・教員研修は一部の教員に偏らないように年次計画を立てる。教員間の勉強会も広く人間形成ができるように、また変わりゆく時代に対応できるように分野を選別する。(佐治副校長)
- ・「YMCAの理念」に基づいた学校教育を引き続き研究する。(堀校長)

IV. その他

副校長より、YMCA全国ブランディングの取り組みの説明がなされた。

校長より、本日頂いたご意見を再度学内で検討し、今後の学校運営に活かす所存である旨の挨拶があり、閉会した。

以上
記録 佐治克彦